

2011年（平成23年）11月11日  
野々市市誕生！！



## 主な内容

- 広報ののいちで振り返る 野々市の歴史… 2
- 議会だより …………… 6
- 第30回 野々市じよんからの里マラソン大会… 12

役場庁舎南側（10月19日撮影）



広報ののいち で振り返る

# 野々市の歴史

## 「野々市公民」(現広報ののいち) (昭和30年) 第1号



昭和40年  
以前

- 野々市町と富奥村が合併し、新生野々市町誕生 (昭和30年)
- 押野村が金沢市へ編入 (昭和31年)
- 郷村が野々市町と松任町へ分村編入 (昭和31年)
- 金沢市から旧押野村の一部を編入 (昭和32年)
- 合併5周年を記念して「町章」制定 (昭和35年)

「野々市公民(現 広報ののいち)」  
毎月1回発行に (昭和50年)

「野々市公民(現 広報ののいち)」  
100号 (昭和51年)

昭和40~  
60年

「野々市公民」から「広報ののいち」に  
(昭和52年)

「広報ののいち」毎月2回(1日、15日)  
発行に (昭和55年)

## 役場庁舎新築 (昭和42年) 第45号

町民の暮らしのセンターとして、昭和42年3月末日に完成。町の象徴として、よく親しまれ、よく愛され、よく活用されることを期待されました。



## 合併25周年 「愛と和の町民憲章」を制定 (昭和55年) 第161号

11月3日、中央公民館で町合併25周年記念式が行われました。式の中で、合併した年(昭和30年)に生まれた2人が「愛と和の町民憲章」を読み上げ、発表披露しました。

「広報ののいち」200号(昭和57年)

「広報ののいち」300号(昭和61年)

## 国鉄北陸本線 野々市駅完成 (昭和43年) 第50号

昭和34年8月に結成された野々市駅誘致期成同盟会が駅地を二日市に定めた上で駅舎用地の買収や、設置経費の全額負担、国道8号線のアクセス道路の新設を決議。昭和43年4月1日ダイヤの改正と同時に北陸本線野々市駅が誕生。悲願10年の実現となりました。



## 第1回「野々市じょんからまつり」開催 (昭和57年) 第203号

会場は浴衣姿の踊り手や見物客など2万人以上の人々が時のたつのも忘れて踊りを楽しみました。

## 野々市市誕生(平成23年11月11日)

- 野々市小学校新校舎完成(平成23年)○
- 人口5万人達成(国勢調査)(平成22年)○
- ギズボーン市と姉妹都市提携20周年(平成22年)○
- 御経塚遺跡出土品 重要文化財に指定(平成22年)○
- 推計人口5万人突破(平成21年)○
- 石川県立大学(前 石川県農業短期大学)開学(平成17年)○
- 合併50周年記念式典挙行(平成17年)○
- 役場新庁舎(三納地内)での業務開始(平成17年)○
- 「のっティ」試験運用開始(平成15年)○
- 全国スポーツ・レクリエーション祭開催(平成12年)○

## 「のっティ」試験運用開始 (平成15年) 第583号

「広報ののいち」  
600号(平成17年)

9月1日、赤と青の2種類ののっティの始まり。北循環と南循環のだんごルートで試験運行開始。



平成10年  
以降~

「広報ののいち」500号(平成8年)

平成元年~

「広報ののいち」毎月1回発行に  
(平成5年)

## 第1回「花と緑ののいち椿まつり」開催 (平成2年) 第385号

「広報ののいち」400号(平成2年)



中央公民館で、椿に関する展示会や花と緑の市(即売会)、花と緑の相談などの催し物が実施されました。

## 石川県統計情報室より4月1日 付け推計人口5万人突破と発表 (平成21年) 第651号

## コミュニティFM局 「えふえむ・エヌ・ワン」開局 (平成7年) 第491号



北陸3県では初、全国で24番目のコミュニティFM放送局が誕生しました。

## ニュージーランド・ギズボーン市 と姉妹都市提携調印 (平成2年) 第387号

姉妹都市提携調印式が平成2年3月30日、ギズボーン市議場で行われました。調印式には、町から西尾修町長夫妻はじめ16人、ギズボーン市側からはジョン・クラーク市長夫妻はじめ市議会関係者、市民など約100人が集まりました。



# 野々市を 盛り上げる

「新しいことに挑戦！」  
「元気ある市へ！」  
「行政と住民の架け橋に！」

市制施行を目前にして、住民の主體的な動きが活発になっています。その中でも、地域で活躍する3人を紹介します。

## 北国街道 野々市の市を発案

今年、町商工会女性部長に就任した田中さん。草木染めやじょんからまつりのサポートに携わり、「今しかできないこと、新しいことに挑戦したい」という思いが強くなっていったそうです。



町商工会女性部長  
田中 陽子さん

完了（本町交差点）本町2丁目南交差点間）したのをきっかけに、「この町並みを何か活用できないか」と思い、行動に移しました。10月9日（日）に行われた、北国街道 野々市の市では、実行委員として奔走。「野々市の市は市場の市。人、モノ、金、情報が集まる場所です。手作りの市を演出したかった」と話してくれました。また、「多くの人に協力していただき、大盛況の内に終えることができました」と笑顔を見せました。「もつと若い人に活躍してもらいたい。市になっても、コンパクトな土地がらを活かし、大学との連携や、これから進めてもつと野々市を盛り上げたい」と期待に胸を膨らませていました。

## 町から市へ

### タスキプロジェクトで 奮闘

高田さんは、じょんからまつりなどの地域を活性化するイベントを行っている町商工会の青年部長です。7月30日（土）、市制施行応援イベントとして住民の皆さんに市への思いをタスキに込めてもらう企画（タスキプロジェクト）を立ち上げました。きっかけは、「子どもたちに未来に向けて形になるものを残したい」という商工会青年部員らの思いからでした。じょんから祭り会場、町役場、商工会などに設置されたタスキには、笑顔があふれる野々市市に、子どもたちにやさしい市へ、など老若男女問わず温かいメッセージが数多く寄せられました。



町商工会青年部長  
高田 幸一さん

せられました。10月13日現在、繫げたタスキの長さは100メートル以上にも。「二人でも多くの人の思いに残り、地元愛が浸透してくれればうれしいですね」と笑顔を見せる高田さん。「これからも様々な企画で地域を盛り上げたい」と熱意を伝えてくれました。

このタスキは、11月11日の記念式典で披露されます。

### 国勢調査を使命感をもって行う

昭和30年、新生野々市町が誕生。町内会では、昭和43年ごろに当初38町内会でスタートし、昭和58年には55町内会に増加しました。平成に入ると多少の増減はありましたが、現在は54町内会になります。

藤さんは平成15年から連合町内会の会長を務め、昨春秋に行われた国勢調査では、統計調査業務に尽力されました。

「町から市になる調査という事で重要な仕事でした。私も含め、各町内会で選ばれた調査員はみんな使命感を



連合町内会長  
藤 力さん

持つて行うことができたと思います」と当時を振り返ります。また、「町内会では行政と住民との架け橋のようなもの。市になってもこれまでと変わらず、町内会の役割をしっかりと果たし、行政と連携を密にしていきたいと思っています。また、地域の皆さんが安心して暮らせるように、一生懸命がんばっていきたいです」と話してくれました。

## 市制施行後に変わるもの 変わらないもの

これまで発行された納付書も使用可能です

市制施行前に発行された町税、保育料、水道料金などの各種納付書は、市制施行後もそのままお使いになれます。また、口座振替をご利用されている方も特に手続きは必要ありません。

◆問い合わせ 各担当課

町章は市章へと名称が変更されますが、デザインは変更ありません。



愛と和の町民憲章（昭和55年11月3日制定）は市制施行後以下のとおりとなります

### 野々市市 愛と和の市民憲章

遙かに霊峰白山を仰ぐ野々市市は、古くから加賀の中心として栄えたところです。わたしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かなまちに住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに市民憲章を定めます。

- 一 郷土を愛し、緑ゆたかな住みよいまちをつくりましょう。
- 一 伝統を重んじ、教育文化の香り高いまちをつくりましょう。
- 一 健康を増進し、活気みなぎる明るいまちをつくりましょう。
- 一 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で温かいまちをつくりましょう。
- 一 秩序を守り、笑顔でふれ合う和やかなまちをつくりましょう。

- 水道料金・下水道使用料のコンビニでの納付が可能となります。
- 市制施行後に発行する納付書から全国のコピーニエンストアで支払いができるようになります。必ずコピーニ取納用のバーコードが印字されている納入通知書でお支払ください。
- ただし、次のものは納付できません
- 指定日をすぎたもの
- バーコードの印字のないもの
- 破損・汚損などにより、バーコードを読み取れないもの
- 納付金額を訂正したもの
- 納付書1枚あたりの金額が30万円を超えるもの
- ◆問い合わせ 企業管理課

☎ 227-6102

## 野々市市の将来をつくる2つのプランの答申

9月30日（金）、平成24年度から10年間のまちづくりの方針を定める、次期総合計画について審議を重ねてきた次期総合計画策定審議会と、平成37年を目標年次とする、新市都市計画マスタープランについて審議を重ねてきた都市計画マスタープラン策定委員会から、それぞれの計画について町長に対して答申書が提出されました。

町では答申の趣旨や内容を尊重し、新たなプランを策定していきます。

### 次期総合計画

#### “人の和で椿十徳生きるまち”の実現を目指して

丸山会長は、「次期総合計画が目指す将来都市像“人の和で 椿十徳 生きるまち”の実現に向けて、市民協働の在り方についてさらに議論を深めていただきたい」と述べました。

これを受け、栗町長は「地方分権の進展により、地方自治体が国から自立し始めているように、行政だけではなく市民も、我が国に伝統的に存在していた互助、共助



の精神を市民自らを取り戻すことにより、地方自治本来の姿を目指していきたい」と答えました。

### 都市計画マスタープラン

#### 更なる発展を目指す“まちづくり”

水野委員長は、「このプランは、更なるまちの発展を念頭に“まちづくり”の方針をとりまとめたものです。その中でも歩いて暮らせるまちづくりや本町地区の活性化、県立大学と連携した新産業の創出を軸に、計画的なまちづくりに努めていただきたい」と述べました。

これを受け栗町長は、「答申の内容を重く受け止め、今後の市制に向けた新しいまちづくりを進めてまいりたい」と答えました。





# 議会だより

議会議案を含めた39議案と諮問3件は、すべて原案どおり可決・承認・認定・同意されました。請願1件については不採択となりました。



## 町最後の議会定例会が閉会

9月22日(木)、56年間にわたって連綿と続いた歴史と伝統ある「野々市町議会」が閉会しました。栗町長は、昭和30年の新生野々市町の誕生、昭和55年の「愛と和の町民憲章」の制定、土地区画整理事業の推進や大型商業店舗の進出に伴う人口増加、21世紀に入り平成の大合併の中、単独市制を選択したこと、平成17年には、待望の新庁舎での業務が開始したことなど、町の歴史を振り返りました。

また、「本町の歴史や今日の発展は、先人の努力の賜物であり、支えてくださった町議会の皆様には、深く感謝します」と述べました。さらに、野々市市への思いとして、「市民の皆様と一緒に、より一層魅力ある新しい野々市を創り上げた」と言葉締めくくりました。



## 北村議長に聞く

### ■定例会を終えて

今、一つの区切りがつき、長い歴史をしみじみと感じています。今日の発展は、歴代の町長、執行部をはじめ、住民の温かいご支援があったからこそだと思います。



今後、議会としても、社会の変化にしっかりと向き合い、福祉の向上や教育の充実、防犯・防災対策の推進、都市整備基盤の進展など、あらゆる問題に取り組んでいきます。

野々市市となっても住民の皆さんと議論を重ね、これから先の野々市の発展のために尽力したいと思います。

## 可決された議案

専決処分(町税条例等の一部を改正する条例)  
地方税法の改正に伴い、町条例を改正したもの。

### 平成23年度町一般会計補正予算

3億3,632万5千円を追加し、予算総額を15億1億7,632万5千円とする。

■主な内訳 住宅用太陽光発電システム設置補助金、J・R野々市駅前広場整備工事などによる増額。

### 平成23年度町介護保険特別会計補正予算

958万4千円を追加し、予算総額を19億6,158万4千円とする。

■主な内訳 繰入金を財源とし、過年度国庫補助金などの精算にともなう返還金の所要額。

### 平成23年度町水道事業会計補正予算

資本的支出において403万円を追加し、収益的収支および資本的支出の合計額を12億4,103万円とする。資本的収支で不足する4億2,003万円は損益勘定留保資金などで補てんする。

■主な内訳 東部浄水場の更新予定地における調査費などの所要額。

### 平成22年度町一般会計歳入歳出決算認定

歳入 178億5,006万8,744円  
歳出 176億2,827万471円  
繰越明許財源 2,444万1,216円  
実質収支 1億9,735万7,057円

平成22年度町土地取得特別会計歳入歳出決算認定  
歳入歳出共に 3億6,261万3,240円

平成22年度町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定  
歳入 41億4,869万7,269円  
歳出 41億3,775万7,009円  
実質収支 1,094万260円

平成22年度町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定  
歳入 3億1,614万5,204円  
歳出 3億1,536万3,208円  
実質収支 78万1,996円

平成22年度町老人保健特別会計歳入歳出決算認定  
歳入歳出共に 863万788円

平成22年度町介護保険特別会計歳入歳出決算認定  
歳入 18億3,565万9,278円  
歳出 18億2,788万4,389円  
実質収支 777万4,889円

平成22年度町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定  
歳入 17億3,838万3,437円  
歳出 17億2,535万6,226円  
実質収支 1,302万7,211円

### 町教育委員会委員の任命につき同意

徳田 寿秋氏(金沢市押野1丁目)を任命することに同意する。

### ▼認定された諮問

人権擁護委員に推薦された深谷 美津枝氏(中林5丁目)、宮城 邦子氏(本町1丁目)、岡田 外志枝氏(堀内3丁目)について適任と認定する。

### ▼可決された議会議案

- ・学校耐震化予算の増強及び防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書
- ・電力多消費型経済からの転換を求める意見書
- ・議会の議決すべき事件に関する条例
- ・町議会委員会条例の一部を改正する条例
- ・町議会議員政治倫理条例及び町議会事務局設置条例の一部を改正する条例
- ・町議会議員政治倫理条例施行規則の一部を改正する規則
- ・町議会会議規則
- ・町議会傍聴規則の一部を改正する規則

### 平成22年度町水道事業会計歳入歳出決算認定

#### ■収益的収支

収入 7億3,579万5,870円  
支出 6億9,658万8,014円  
収支差引から消費税、地方消費税を差し引いた純利益は、3,072万7,702円となる。

#### ■資本的収支

収入 1億6,585万4,118円  
支出 3億9,891万9,059円  
不足分は損益勘定留保資金などから補てんした。

### 町の区画を新たに画する(一)

市制施行にあわせ、8町について「字」表記を削除し、町の区画を新たに画する。

### 町国民健康保険税条例及び町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

普通徴収の第9期納期限を1月4日に改める。また国民健康保険税第11期(2月)納期限を2月末までとする。

### 町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

遺族の範囲に、死亡当時における配偶者、父母、孫、祖父母が存しない場合、その者と同居または生計を同じくしていた兄弟姉妹に災害弔慰金を支給できるもの。

### 町条例の用字、用語等の整備に関する条例各条例の内容、効力などに影響を及ぼさない範囲において、用字、用語などの整備を行うもの。

## 一般質問

町政全般にわたり川、西本、土田、岩見、大東、中村議員の6名が一般質問を行いました。

質問者と質問、答弁の要旨は次のとおりです。(発言順)



野々市の農業の未来と、税の徴収

川 哲郎 議員

Q 我が町では、区画整理事業が各地区で行われ、成功を遂げている。

しかしその一方で、市街化区域となつた農地の税額が上昇する結果も生んで



いる。後継者問題など様々な要因が考えられるが、増税による負担も農業の継続を断念する要因の一つとなっていることは明らかである。そして増税による負担を理由に、農地を手放すことも少なくなく、農業のさらなる衰退を招いている。固定資産税は安定していて、見込みやすく取りこぼしにくく、取りやすい理由から、不足すれば、即その部分を増税するような安易な感があることは否めない。公平性・公正性の観点からも未納・滞納金に対し、更なる徴収の強化・徹底、厳しい対応を求める。決して「逃げ得」を許してはならない。これまでの取り組みの成果、未納・滞納者に対する徴収率、現状の問題点・課題は。農地がなくなることへの危機感。我が町の農業の未来に対する町の見識、展望を示せ。



## 野々市中央公園を総合運動公園に

西本 政之 議員

**Q** 現在、中央公園には体育館、テニスコート、野球場、ソフトボール場、相撲場などがあるが、体育館は築30年以上が経過し、老朽化が著しく、5万人都市の体育館としては規模的にも十分ではない。また近年競技人口の増加が著しいサッカー競技を行う専用の施設もない。そこで、中央公園を、体育館の建て直しとサッカー場の新設を含めた「野々市総合運動公園」として整備せよ。

**A** 農業については、水稻を軸に野菜、果樹など収益性の高い作物生産を組み合わせた複合経営を推奨している。また、特色ある農産物生産の推奨、農地を集積するなど経営規模の拡大を推進し、農業に係るコスト低減に取り組んでいる。今後も関係団体などと連携し農業振興の充実に努めたい。税の徴収に関しては、平成20年度に高額滞納案件専門班を設置、徴収嘱託員2人を雇用した。平成21年度には県税職員との相互派遣、口座振替の再振替を実施した。平成22年度の徴収率は98.2%で前年から0.4ポイント増加、滞納繰り越し分については21.7%で7.7ポイント増加した。今後は個人町民税を初め、調定額の減少が予想されることから、徴収強化が必要と考える。

### 特別支援学級の現状について

**Q** 本年8月5日に障害者基本法が改正し施行された。その中で、障

がい者の地域社会における共生が強調され、国および地方公共団体は可能な限り障がい者とうでない者が生活し、教育を受けられるように配慮しつつ、必要な施策を講じなければならないとされている。そこで、町立小中学校の特別支援学級の現状と医療行為が必要な児童・生徒の場合や、保護者が町立小中学校の通学を希望した場合、町の受け入れ体制と方針を問う。



## 市制施行記念行事の流れについて

土田 友雄 議員

**Q** 昭和30年4月1日の合併記念町民参加祝賀パレードは、町民の心が一つとなる大きな出来事であり、今日の野々市の礎になったと思う。百年に一度、一生一度の大変重要な節目であり、大いに祝い、記憶に残し後世に語りつぐ事柄である。子どもと市民の多くが一同に集い共に参画し、一生の思い出となる野々市市誕生を祝う記念行事実施の要望書が、町を支えている連合町内会から提出された。市民参画の当日の記念行事の流れを明示せよ。

**A** 市制施行当日の午前11時に町内小中学校グラウンドにおいて、児童生徒、市民によりメッセージや絵を記した風船を飛ばす「エコバルーンリリース」を実施する。また、市役所での開市式、文化会館フォルテでの記念式典

**A** すべての町立小中学校に特別支援二ーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行っている。また、現段階では看護師を配置するなど一定の要件を整えて医療行為を実施する考えはないが、保護者などが就学を希望した場合は、必要な医療行為の範囲や保護者の医療行為への協力体制などを就学指導委員会で十分検討し、判断した結果を踏まえて対応したい。

には、多くの市民に集ってもらいたい。

**Q** 野々市っ子とはどのような子か。これからの野々市市を支える子ども育成は大変重要である。市制施行を機に、雑多な町からふる里愛の町へと。ふる里を語ることができる野々市っ子と位置付ける、ふる里教育を検討してほしい。

**A** 学校教育の観点から言うと、知・徳・体の調和のとれた生きる力を備えた子、変化の激しい今日の社会を主体的に生きていくために国際化や情報化に対応できる子である。また、家庭教育、ふるさと教育から言えば、町民憲章に表されている郷土を愛する子、伝統を重んじる子、健康を増進する子、勤労を尊び、感謝と奉仕の心を持つ子、秩序を守る子と考える。



## 原発の危険性の認識と町の対策を問う

岩見 博 議員

**Q** 原発は人間がコントロールできない危険な物との認識は。志賀原発を再稼働しないよう求めよ。志賀原発事故を想定した情報の周知方法や、子どもの避難方法、ヨウ素剤配布態勢を講ぜよ。

**A** 一義的には原発は危険なものであるが、その安全対策は最大限に図られるべきだと考える。志賀原発は県、志賀町などでもその判断が示されていないため、現時点では意思表明できる立場ではない。町の対応として、原発も含めた地域防災計画の見直しが必要であり、現在、情報収集、調査を進めているところである。

### 地域主権改革の影響を懸念する

**Q** 保育園の面積基準や、保育士の配置基準が廃止されても、町は現在の基準を引き下げるな。自治体計画への住民意見の反映義務付け緩和は、住民参加や情報公開を後退させることにならないか。国の基準廃止は、国庫負担金の削減になり、町民にサービス水準の維持が負担増かの選択を迫ることにならないか。

**A** 保育士の配置基準については、現在も国の基準を上回っており、今後も町で条例を制定すべきことについては、国の基準を踏まえたい。自治体計画については、住民の意見を反映し、策定過程を含め公表していきたい。一

括交付金制度が国の財政負担を地方へ転嫁するような地方交付税改革にならないように要望している。

### 子育て新システムについて

**Q** 収入の少ない家庭や手のかかる子どもは保育園に入れない事態も起こるのではないか。家庭や保育園へ支援を。のではなか。社会保障と税の一体改革による財源が基本であることから、制度設計の詳細が示されていないが、詳細が明らかになり、制度全体が示された時点で、具体的な施策の進め方など検討したい。

### 子ども医療費の病院窓口無料化について

**Q** 県議会でも、窓口無料化を求める請願などが採択され、県の健康福祉部長は「市町の意見を踏まえてどうあるべきか検討したい」と答弁している。窓口無料化を求める意見を上げよ。

**A** 県内の医療機関を対象としなければ効果が薄く、県内で足並みをそろえることが効率的である。また、手数料などの経費が必要になることから、県乳幼児医療費助成事業補助金の改正や、国における助成制度の新設などが必要である。今後も国や県に対し、強く要望していきたい。



## 公共交通経路拡張案について

大東 和美 議員

**Q** 町の境界線を越えて、のっティのコースを上荒屋などに拡大、時間帯の見直しを。高齢者だけでなく、日常生活に便利な買い物、通学、病院、乗り継ぎなどをコースに取り入れてはどうか。松任中央病院と庁舎を結ぶシャトルバスのコースの検討は進んでいるか。デマンドシステム、共通カードなど提案する。

**A** のっティは営利目的としていないため、現時点ではこれ以上の行政界をまたぐルート設定は難しい。夜間の利用者が少ないため、運行時間の変更は考えていない。シャトルバスのルートなどは協議、調整中である。町地域公共交通活性化協議会で共通カードなど利便性向上に向けた協議が行われることを期待する。

### 子ども医療費支払い方法

**Q** 中学生までの医療費助成の窓口支払い負担を減らし、現物給付制度を提案する。

**A** 県内市町が足並みをそろえて現物給付方式にすると、県内の医療機関が窓口無料化になるので、子どもの健康管理がより図りやすくなると考える。今後とも国や県に対し、強く要望していきたい。

### ゼロ円ベースで市制祝賀記念

**Q** アイディア募集で、未来につながる行事を創設、野々市市の魅力を世

界に発信してはどうか。

**A** 行政が主催する記念式典などのほか、文化団体、スポーツ団体を初めとする各種団体が企画する行事、イベントなどが数多く行われる予定である。

### 新・施設開拓案(防災ゾーン)の中の図書館および活動拠点と活動費

**Q** 図書館を建設するための課題は何か。女性団体やシルバー人材センターなどを指定管理者にして、施設の管理をすることで、活動拠点や活動費、雇用の場を作り、町づくり参加を提案する。

**A** 平成19年に新図書館検討委員会から望ましい図書館像の答申があった。建設の事業費、場所、時期の確定には至っていないが答申を尊重し、検討したい。指定管理者については、公共施設の形態や目的、それぞれの団体の意向もあることから、活動団体を指定管理者にすることは考えていない。

### 健康手帳

**Q** 生涯持続可能な健康管理便利帳を提案する。

**A** 手帳として交付しているものは、健康手帳と母子手帳がある。これらは年齢や期間が限定されており、生涯を通じて活用できるものではない。生涯のデータを記録するには膨大な





本町 むかで競争



富奥 かけっこ

地区	優勝	準優勝	第3位
本町	本町5丁目	本町6丁目	高橋
富奥	栗田	新庄3、4、5丁目	新庄1、2丁目
郷	二日市・長池	堀内	稻荷
押野	丸木	御経塚	押野

# 地区運動会



10月2日(日)、町内4地区で運動会が開かれました。小雨もばらつく天気でしたが、会場は熱気で溢れていました。



郷 子どもリレー



押野 フリスビーペットボトル倒し

## 昭和の小中学校の変遷

昭和30年代は新生野々市町が誕生。野々市小学校と野々市中学校の校舎が、1町3村が統合した町のシンボルとなりました。

昭和40年代の人口の急増は学校のマンモス化をもたらし、昭和52年には野々市小学校は2千数百余人に。

昭和50年代には、適正規模の学校をめざして、その整備が行われ、現在の小学校5校、中学校2校の町の姿になりました。※赤字は中学校、黒字は小学校

31年4月	野々市中学校と富奥中学校が統合し野々市中学校に
31年10月	野々市中学校の校舎完成 郷地区、野々市中に転校
32年4月	押野地区、野々市小学校に転校 押野地区、野々市中に転校
36年4月	野々市小学校と富奥小学校が統合し野々市小学校に
37年4月	郷小学校の一部が野々市小学校に統合
37年9月	野々市小学校の校舎完成
49年10月	野々市中学校新校舎完成
53年4月	野々市小から御園小学校分離
56年4月	野々市小から菅原小学校分離
57年4月	野々市小から富陽小学校分離
59年4月	野々市小から館野小学校分離 野々市中から布水中学校分離

## 野々市小学校50周年



榊原校長は式辞として、未来の50年を担うののいちっ子の育成を誓うとともに、児童代表の小和瀬太一さんも元気に喜びの言葉を述べました。また、同校の音楽教諭が作曲し、児童みんなで作詞した合唱「銀もくせいのある学校」を初披露しました。

## 富陽小学校30周年



「一村一心」の字を掲げ、「富奥地区に残る大切な心を忘れずに」と式辞を述べた藤森校長。児童を代表して水野真佑さんが学校生活の思い出を語りました。式の後、卒業生でプロのサクソフーン演奏者・作田聖美さんのコンサートが開かれました。

10月15日(土)、両校で記念の年を祝う式典が、各校体育館で開かれました。

## 議会活動

9月16日～10月15日

- 9月16日 決算特別委員会
- 20日 決算特別委員会
- 22日 定例会（討論・採決）
- 27日 白山石川医療企業団議員管内視察
- 28～30日 産業建設常任委員会行政視察
- 10月

- Q 中心市街地活性化計画の作成後、政府への認定申請および協議会を設置の上、まちづくり会社や中心市街地整備機構による積極的事業の推進を図れ。
- A 旧役場庁舎周辺の土地利用については、事業区域、整備施設などの検討をしている。事業化するには地元の違いや理解、負担が必要となる。本町地区の活性化につながるよう地元住民や関係者から意見を聞き、さらに調査を深めたい。
- Q 総務省が無償提供を行っている災害非常時の各種行政サービスの充

- Q 災害現場での救命機会の多い消防団へ、AEDの配備を急げ。
- A 第1分団にはすでに配備しているが、その他の分団においても、今後配備していきたい。
- Q 町消防団全分団へのAED「自動体外式除細動器」の配備について
- A 調査研究していきたい。
- Q 実を支援する行政用パソコンソフト「被災者支援システム」の導入を求める。
- A 有効なシステムであるが、住民情報とのデータ連携費用負担が大きいなど、多くの課題がある。他の防災システム導入との優先順位なども含め、調査研究していきたい。

## 旧役場周辺の本町地区再開発について

中村義彦 議員

データになることから、パソコンなどを使ったシステムの活用が必要になるが、内灘町において開設されているサ

イトが誰でも利用できることから、当町でも活用に向けてPRしたい。

## 入札結果

1000万円以上（税込み）

■住宅宅地化促進事業 9月分入札 扇が丘9号

線道路改良工事

予定価格 2163万円

落札金額 2062万2千円

落札者 (株)北野組

■都市公園リニューアル事業 押野

中央公園外遊具設置工事

予定価格 1176万円

落札金額 1102万5千円

落札者 (株)河合組

■野々市町北西部土地区画整理事業

区画街路築造工事第77工区

予定価格 1764万円

落札金額 1648万5千円

落札者 みのり建設(株)

■下水道既設管路施設耐震化工事

第1工区

予定価格 1344万円

落札金額 1218万円

落札者 北興建設(株)

■白山石川広域事務組合関係

旧消防本部土地及び建物売却（白山市徳丸町37番地1）

最低売却価格 4390万円

落札金額 9560万円

落札者 (株)アットホーム

## 善意が形に！車いす第一号を披露

昨年1月より、町内小中学校で車いすとの引き換えを目指し集めたプルタブが今年9月に地域住民や事業所に協力していただいた分も合わせ1200kgとなりました。10月3日(月)には、町役場にて、各校児童生徒の代表者に念願の車いす第1号が披露されました。窓口となっていた町社会福祉協議会の宮崎理事長は、「小さな力がまとまって車いすという形で願いが実現しました。2台目を目指してこれからも取り組んでください」とお礼を述べました。この車いすは町老人福祉センター椿荘で貸し出し用として使われます。



## 新庄花の木台公園がリニューアル

9月8日(木)、新庄4丁目地内に新庄花の木台公園が開設されました。これは、県が行ってきた二級河川高橋川の改修工事に伴い、平成21年8月に用途が廃止された都市公園をリニューアルしたものです。面積は以前の839㎡から1026㎡に広がり、遊具も増え、子どもたちや地域の人にとって交流の場としてこれまで以上の利用が期待されます。





第30回

野々市じょんからの里  
マラソン大会

10月16日(日)、じょんからの里マラソン大会が今年も開催され、過去最多の一三四七人が参加しました。開会式では、野々市明倫高校から小西俊章君と寺口葉子さんが同校のゆるキャラ「りん君」「めいちゃん」のパネルを持って選手宣誓をしました。時折、雨も降るあいにくの天気でしたが、老若男女問わず、今年もあちらこちらでさわやかな汗が光っていました。



第30回野々市じょんからの里マラソン大会成績表

一般の部10キロ			
	順位	氏名	市町
第1部 男子 29歳以下	1	町田 宣人	小松市
	2	末富 貴之	野々市町
	3	金丸 聡寛	野々市町
	4	澤田拳志郎	白山市
	5	山崎 昌寛	能美市
	6	永下 賢太	野々市町
第2部 男子 30～39歳	1	崎出 光	穴水町
	2	岡島 薫孝	金沢市
	3	坂本 真樹	野々市町
	4	砂田 宏和	白山市
	5	小杉 哲正	金沢市
	6	谷 将和	野々市町
第3部 男子 40歳以上	1	出海 立	能美市
	2	内田 典夫	金沢市
	3	森田 達也	穴水町
	4	新出 光男	珠洲市
	5	飴山 敏克	小松市
	6	山口 智	野々市町
第4部 女子 共通	1	室 瑞季	白山市
	2	山下 明子	白山市
	3	松山祐希子	白山市
	4	吉田 詩子	白山市
	5	坂田 和恵	金沢市
	6	松村 美奈	金沢市

一般の部5キロ			
	順位	氏名	市町
第5部 男子 39歳以下	1	大坪 志志	金沢市
	2	谷川 史弥	野々市町
	3	下川 義博	坂井市
	4	北島 宏幸	能美市
	5	山本 勝久	野々市町
	6	坂本 英人	加賀市
第6部 男子 40～59歳	1	高橋 達	金沢市
	2	米谷 誠	金沢市
	3	中野 善人	金沢市
	4	松山 和能	津幡町
	5	吉田 諭	加賀市
	6	宮崎 明	金沢市
第7部 男子 60歳以上	1	紺谷 繁次	かほく市
	2	下川総一郎	金沢市
	3	小森 正幸	穴水町
	4	木下 廣	金沢市
	5	三宅 正憲	白山市
	6	西川 衛	白山市
第8部 女子 34歳以下	1	奈良末沙希	野々市町
	2	川口 直子	金沢市
	3	アリソ マリアナ	野々市町
	4	徳村友里恵	白山市
	5	原田 梨加	金沢市
	6	岡部 仁美	野々市町
第9部 女子 35歳以上	1	中田 愛	白山市
	2	宮崎 円	金沢市
	3	藤田 祐美	金沢市
	4	新屋麻里子	金沢市
	5	河上久美子	白山市
	6	野崎 貴子	白山市

小学生男子の部2キロ			
順位	氏名	所属	
1	橋本 一輝	菅原ミニバス	
2	の場 翔大	野々市学童野球	
3	今村 優太	館野学童野球	
4	塚村 慶太	野々市ジュニアサッカー	
5	丸田 悠斗	菅原少年サッカー	
6	坂下 陸	菅原少年サッカー	
7	川西 直哉	富陽サッカー	
8	中道 澪	菅原ミニバス	
9	蓮野 拓実	野々市学童野球	
10	江川 碧斗	野々市ジュニアサッカー	
小学生女子の部2キロ			
順位	氏名	所属	
1	能村 寧々	菅原ミニバス	
2	中野 杏香	野々市ミニバス	
3	中内亜弥佳	御園ミニバス	
4	津田美由季	御園ミニバス	
5	佐藤 萌	野々市ミニバス	
6	森 佳那	野々市ミニバス	
7	今川 祐里	野々市ミニバス	
8	小竹 真愛	館野ミニバス	
9	伴 千聖	野々市ミニバス	
10	諏訪めぐみ	菅原ミニバス	
トリムジョギングの部3.1キロ			
順位	氏名	市町	
1	大杉 一也	金沢市	
2	安田 賢次	川北町	
3	百々 浩之	野々市町	
4	江端 徹	野々市町	
5	貝野 亨	金沢市	
6	吉岡 庄治	津幡町	

中学生男子の部3キロ			
順位	氏名	所属	
1	坂口 真心	野々市水泳	
2	今村利輝人	布水陸上	
3	横地 凌	布水陸上	
4	永江 経陽	布水陸上	
5	酒井 達晶	布水男子バスケット	
6	島 佑樹	布水陸上	
7	濱本 神威	野々市陸上	
8	織田 雅広	野々市野球	
9	久保 凱斗	布水サッカー	
10	三原蓮之介	布水サッカー	
中学生女子の部3キロ			
順位	氏名	所属	
1	片山 千里	野々市陸上	
2	横山しおん	布水女子バスケット	
3	近藤 菜月	布水女子バスケット	
4	岩田 麻央	布水陸上	
5	吉田 早希	野々市陸上	
6	北野 朱音	布水女子バスケット	
7	北又 莉来	布水女子バスケット	
8	橋場 美香	布水女子バスケット	
9	泉 斐佳利	布水女子バスケット	
10	杉田 枝穂	布水陸上	

あなたの意見が、野々市を創る!!

地域福祉計画・地域福祉活動計画地域座談会

「地域座談会」が8月よりスタートし、多くの住民が参加しています。今月は、地域座談会の中間報告をお知らせします。

地域座談会では、みんなが安心して暮らせる地域づくりの第1歩として、「うちの地域ではこんな活動がある!」「日々の暮らしでこんなことが不安!」「地域でもっとこんな取り組みがあればいいのに」などを話し合っています。ぜひ、近所の人をお誘い合わせのうえ、ご参加をお願いします。

地域の底力  
～高齢者などの安心を  
みんなで守ろう～



地域座談会の開催状況（8月17日～9月29日開催分）

	日付	会場	町内会	人数
1	8月17日	町交遊舎	御経塚・あやめ	35
2	8月23日	町青少年センター	扇が丘・住吉・菅原	44
3	8月25日	菅原団地集会所	菅原団地	15
4	9月9日	新庄町内会館	新庄3、4、5丁目	17
5	9月12日	太平寺会館	位川・太平寺	31
6	9月19日	新庄1丁目公民館	新庄1、2丁目	31
7	9月22日	町中央公民館	本町1、2、3丁目・本町1丁目(県住)・若松町・横宮町・高橋町	26
8	9月26日	カメラア	藤平・藤平田1丁目、2丁目・下林	22
9	9月29日	町富奥公民館	中林・中林丸の内・上林・末松・清金・清金3丁目	32



↑御経塚・あやめ町内会の座談会。1人1人が意見を付箋に書いて話し合っている様子

・それぞれの地区の話が聞けて参考になります。これからの課題として、成功した例など参考にして少しでも良い方向に行くよう、皆で知恵を出し合っていけたらと思います。  
・付箋方式の参加型座談会はおもしろい。  
・なかなか解決できない問題もあるが、一歩一歩考えていきたい。

地域座談会後のアンケートより

11月の地域座談会日程（開催時間19：00～20：30）

日程	会場	該当する町内会
11月7日(月)	保健センター	三納、矢作
11月9日(水)	あすなろ団地集会所	あすなろ団地
11月14日(月)	栗田公民館	栗田
11月17日(木)	押野公民館	押野、押野丸木

地域座談会は、どなたでも自由に参加できます。ご近所お誘い合わせのうえ、ご参加をお願いします。

問い合わせ しあわせ支援課 ☎227-6063 町社会福祉協議会 ☎246-0112



## できたよ! 初めての稲刈り

カメラ親子体験塾

9月25日(日)、中林地内の田んぼで親子11組とカメラ・パルの会の会員が稲刈りをしました。5月に植えたコシヒカリはすっかり実り、倒れかかった稲穂と初めての鎌に苦戦しながらも、実りの秋を満喫しました。稲はこの日から天日干しされ、10月中頃には、おいしい新米が家族の元に届きました。この事業には、県立大ビオトープ研究会の学生も参加し、稲刈りの後、子どもたちと生き物探しを行いました。刈田の中でたくさんの昆虫やカエルなどを見つけ、生き物と共生しながら米作りが行われていることも体験しました。



## 世代間交流でにぎわうまち

お年寄りと子どものフェスティバル2011

お年寄りと子どもが触れ合う場として、9月25日(日)に、老人福祉センター椿荘周辺で町社会福祉協議会主催のフェスティバルが開かれました。秋晴れの会場には、縁日や福祉ショップ、食べ物コーナーなどが並び、たくさんの人が訪れていました。手作りコーナーでは、お年寄りが先生になって子どもたちにおもちゃ作りを指導。世界に一つだけの竹とんぼやストラップに、子どもたちは瞳を輝かせていました。また今年は、子どもじょんからや劇団nono(のの)が、初出演しました。



## シャッターチャンスはじっと待て

ママはカメラマン!

遊ぶパパと子どもをママが撮影し、その写真をプロカメラマンに講評してもらう撮影会が、10月8日(土)にかほく市の西田幾多郎記念哲学館で開かれました。この日は、町の4組の親子を含む50組が参加しました。講師の能登の風景写真家・中乃波木さんは、「子どもの一瞬の表情をとらえるためには、じっと待つことが大事」とママにアドバイスしていました。これは、県内の3市3町からなる石川中央広域圏男女共同参画推進協議会が、男性の育児参加を促そうと企画したもので、カメラを向けられてはにかむパパが多く見られました。



## 活みなぎる当時の市を再現

北国街道 野々市の市

10月9日(日)本町通りで、「北国街道 野々市の市」が開かれました。地元商店などの屋台や手作りの店が並び、買い物や歴史的な家屋を訪れる人を楽しませていました。歩行者天国となった通りでは、野々市じょんから節保存会のお囃子と唄に合わせて、夏祭りで入賞したチームなどが通りで踊りました。また、本町2丁目の野菜みこしも練り歩き、本町3丁目の獅子舞も勢いよく舞い、にぎわいに華を添えました。



## 野々市の発展を願って

町職員退職者による記念植樹

10月13日(木)、市制施行を記念して、町役場職員退職者「つばき会」から町花木つばき（品種ののいち）が寄贈されました。あらみや公園には、会員と、町関係者ら約30人が集まり、植樹式が行われました。会長の櫻井輝男氏は、「野々市市誕生に多くの住民が期待しています。立派な市の実現に向けて取り組んでいただきたい」と期待を込めて話しました。

11月11日(金)には、東京野々市会と関西野々市会も記念植樹を予定するなど、様々な各団体が記念の行事を行います。



## 旧北国街道のお宝を再発見!!

野々市の歴史まちあるき

本町通りの街並みが整備されたことを記念して、10月8日(土)と9日(日)の2日間、非公開の文化財が特別公開されました。町内外から多くの見学者が訪れ、かつての北国街道のにぎわいをとりもどしたかのようでした。

8日には、歴史講演会も開催され、80人が参加。講師の木越隆三さん(町文化財保護審議会委員)は未公開文化財の歴史解説を行いました。解説を終えた木越さんは「野々市は文化財が多く残っている。本町通り沿いの町家の建物もおもしろい」とのことでした。





# オススメの本

## 子ども向け



**「ピーターラビットのおはなし」**  
 ピアトリクス・ポター／作・絵  
 福音館書店  
 お母さんのいうことを聞かず、うさぎのピーターは、畑のやさいを食べてしまいました。それで、人間に追いかけれられ、服まで取られてしまって…。

## 大人向け



**『坂の上の雲』 歴史紀行**  
 JTBパブリッシング  
 よく出来ると評判の秋山兄弟の3番目と5番目だった好古・真之、学生時代は野球に夢中だった正岡子規らの魅力的な人物像から、明治の戦争の開戦から終結までの経緯、時代背景を豊富な写真と図で伝える。

## ● 今月のおはなし会

とき：11月12、26日(土)  
 午前11時から  
 場所：児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。誰でも自由に参加できます。

## ● 今月の展示図書

テーマ『日記』  
 ※展示期間中は貸出できませんので、予約をお願いします

図書館お役立ち情報：「野々市町立図書館利用者カード」は、市制移行後もそのままお使いいただけます。

# Topics

## 町キャラクターのっティがお菓子に！ 全国に発信！

### のっティの新商品を紹介！



#### ジョアン（三納） やわらかおやき のっティプリン

今年春ごろから考え始め、9月に完成した自信作！  
 のっティの焼き印をきれいにに入れるためおやきを採用。カスタードプリンがたっぷり詰まった味わい深い一品。

#### 加幸庵（中林） のっティどら焼き

しっとりとした甘さ控えめのつぶあんをふっくらしたどら焼きの皮で包んだ自慢の一品。



#### のっティせんべい

もち米で作ったせんべいは、サクッと軽い口当たりに。抹茶、砂糖、黒砂糖、シナモンの4種類。

#### 明治乳業（堀内） 小中学校の給食に「のっティ牛乳」

2学期から町内7小中学校で給食用牛乳パックにのっティが登場。かわいらしいキャラクターが子どもたちの食欲をそそります。



御園小1年生。

～ くにちは。子育て支援センター菅原は、月～土曜日、未就園児親子を対象にあそびの広場を開放しています。広場は、和やかな雰囲気の中で、子どもと一緒に遊んだり親同士が交流したりと気軽に集える場です。  
 「子育ては大変だけれど仲間ができた」「ここに来れば誰かに会える」「子どもとゆったりと向き合える」などの声が聞かれます。子育ての不安や心配など、一緒に考えたり話をする事で「ちょっと気持ちが楽になった」と表情が和らいでいます。



# かがやくひとみ

## 子育て支援センター菅原 あそびの広場から



母親、子ども同士が友だちとなり「こんにちは！」「元気だった？」など人と人との出会いにつながり、視野が広がっています。  
 また、年7回、交遊舎で移動支援センターの開設をしています。あそびの広場や絵本BOXハウスでの貸し出しをする中、親子でゆったりと絵本を読んでいる微笑ましい姿が見られます。  
 ～ れからも子育て家庭を元気づけていき、子育ての楽しさを発信していきたいと思います。

## 野々市検定

～新しい発見があるかも!?～⑧

正解は18ページで

町の魅力を伝える野々市検定第8弾。広報ののいち、野々市じょんからまつり、町と姉妹都市提携を結んでいる市にまつわる問題を作成しました。楽しみながら挑戦してみてください。

＜1問目＞野々市公民（現 広報ののいち）の第1号はいつ発行されたか？  
 A. 昭和30年 B. 昭和31年 C. 昭和32年 D. 昭和33年

＜2問目＞昭和57年の第1回「野々市じょんからまつり」はどこで行われたか？  
 A. 金沢工業大学周辺 B. 中央公園周辺  
 C. 中央公民館周辺 D. 文化会館フォルテ周辺

＜3問目＞町と姉妹都市提携を結んでいるのはニュージーランドの何市？  
 A. ウェリントン市 B. オークランド市  
 C. ギズボーン市 D. クライストチャーチ市

## わたしの夢



歌手になりたい  
 山本 はるかさん  
 野々市小学校1年



消防士になりたい  
 橋本 悠人くん  
 野々市小学校1年

## ぼくの夢

## オリジナル年賀はがきを販売します 一年賀状で野々市市誕生をPRしませんか～



予 約 11月8日(火)から 月～金曜日9:00～17:00に住  
 所・氏名・電話番号・枚数・引渡し場所をお知らせください。  
 引き渡し 12月1日(木)～7日(土)（土日を除く）にご希望  
 の引渡し場所で行います。  
 販売価格・販売総数 1枚50円、3万枚（先着順）  
 申し込み・引き渡し場所  
 町商工会(販売元)246-1242 野々市郵便局 248-0989  
 富奥郵便局 248-0988 太平寺郵便局 248-5001  
 扇が丘郵便局 246-3400 御園郵便局 294-1519  
 押野郵便局 246-0650 下林郵便局 227-0710

11月からは  
商工会で販売

新登場！ろうきんフリーローン  
 あなたの暮らしを(楽)に(楽)に(楽)にします！  
 ★家電の購入、旅行費用など  
 暮らしに役立つさまざまな費用に  
 ご利用できる便利なローンです！  
 キャンペーン実施！  
 2011年8月1日～2011年12月31日まで  
 無担保 変動金利 年3.90%  
 (保証料年0.8%を含む)  
 ◆ご融資額 最高1,000万円  
 ◆ご返済期間 最長10年  
 ◆ご返済方法 毎月返済または毎月返済・ボーナス返済の併用  
 ※保証機関によっては、年6.10%（保証料年3.0%を含む）  
 となる場合があります。  
 ※2011年8月1日現在適用中。  
 ※審査の結果ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。  
 北陸労働金庫金沢南支店  
 金沢市泉本町6-79 TEL 076-243-8311

『もしも』の時の安心と信頼  
 会員募集 募集中  
 フューネラル倶楽部  
 JAののいちコスモスの会  
 JA指定ホール  
 フューネラルホール 天祥閣  
 野々市町矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141  
 フリーダイヤル  
 0120-800-448  
 URL http://www.tensyoukaku.co.jp

スピード 給付の 県民共済  
 こども型 総合保障型  
 熟年型 新型火災共済  
 お問い合わせと資料のご請求は  
 ☎0120-63-5011  
 ☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107  
 [共済取扱団体/石川県認可] 石川県民共済生活協同組合  
 〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F  
 ホームページアドレス▶ http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/  
 携帯電話からはこちらへ▶ http://kyo-sai.jp/

JR野々市駅南口  
 新しい街。  
 野々市  
 つばきの郷  
 宅地(保留地)分譲中！  
 ○販売面積 50.00坪～○販売価格 1,100万円～  
 野々市町北西部土地区画整理組合  
 石川郡野々市町字三日市町104-1 TEL. 076-246-3301  
 URL http://www.dimp.net/tsubakinosato/

広告欄







## 秋まつりの獅子



中林



粟田

10月9日(日)は、多くの町内で秋まつりが行われました。富奥地区の中林、粟田では獅子が巡行し、本町通りでも獅子舞に多くの観客が集まりました。

中林の獅子舞(左上)には独特の剣術や柔術の型が取り入れられ、激しく動く獅子が高く舞い上がります。粟田の獅子舞(右上)は、昭和52年に豊田日吉神社社殿の改築に合わせ復興されました。住民が演目とお囃子(はやし)の保存に努め、大人に混じってたくさん子どもたちが演舞する姿を目にします。

本町3丁目の獅子舞(右下)は数年おきの巡行ですが、この日の「北国街道 野々市の市」に合わせて、特別に披露されました。本町通りには2丁目の野菜みこしも繰り出し、勇壮な掛け声が響きました。本町地区には1丁目、4丁目にも獅子舞が伝承され、これらがすべて巡行する布市神社の秋まつりは、野々市を代表する風物詩となっています。



本町3丁目